

平成 29 年度第 2 回浦河町社会教育委員会議 議録

- 開催日時 平成 30 年 3 月 23 日（金）18：30～
- 開催場所 浦河町総合文化会館 2 階 第 3 研修室
- 出席者

<社会教育委員>

【出席者 11 名】

野崎 充委員、伊藤勇二委員、津澤静子委員、松本正美委員、坂本廣子委員、三浦敦子委員、菅 正輝委員、谷川雅隆委員、関口明子委員、久保珠里委員、向谷地悦子委員

【欠席者 9 名】

生田仁志委員、中山 敏委員、小林光紀委員、奈良淳弘委員、松田芳宏委員、野上由佳委員、大野初美委員、柵山和宏委員、米山 豊委員

<教育委員会>

浅野浩嗣教育長、民部宏治課長補佐、白浜ひとみ主幹、菊地美奈子主任、早坂智史主事、武田颯太郎主事

1.あいさつ

【浦河町教育委員会教育長 浅野浩嗣】

【社会教育委員長 津澤静子】

2.報告事項

- 1) 平成 29 年度浦河町社会教育委員活動報告について、別紙資料 1 に基づき事務局より説明
質疑なし
- 2) 平成 29 年度主な事業報告について、別紙資料 2 に基づき事務局より説明
(H 委員) 北海道から沖縄まで、遠方の委員との意見交流が貴重な経験となった。
- 3) 平成 30 年度主な事業について、別紙資料 3 に基づき事務局より説明

3.協議事項

- 1) 平成 30 年度に向けての要望・意見等

【A 委員】

学校の目指す子どもたちの姿を地域や教育委員会で共有しながら、まちづくりの 1 つとして学校教育も一緒になって進めていければと思う。まちづくりのなかに一緒に子ども達も入って、社会教育と協力しながら子どもたちを育てていきたい。

【B 委員】

青年会議所として持っているプログラムの中には社会教育的なものも多くあるため、積極的に活用していただけたらと思う。機会があれば、そういったプログラムを紹介するので、協力していきたいと思う

【C 委員】

子ども会の組織体制が弱っており、事業を実施する際に教育委員会の職員の負担が大きくなってしまっているのが現状である。役員の主体的で積極的な事業運営への参加を増やすこと、役員の成り手の確保といった点が課題となっている。また社会教育員としては、自身の関係ない行事や団体であっても、町全体のことを視野に入れて積極的に参加していく姿勢が重要だと思う。

【D 委員】

学習指導ボランティアとして、実際に学校の中に入り先生や生徒たちと直接関われるというのは、とても幸せなことだと思っている。委員それぞれ、家庭や仕事の事情で参加できないこともあるとは思いますが、出来る限り協力していきたい。

【E 委員】

社会教育委員として、町内のさまざまな団体やイベントに参加して横のつながりを広げることが大事だと思う。まだまだ学ぶべきことはたくさんあると思うので、自発的に勉強していきたいと思う。

【F 委員】

いちご産業としては各種町内外のイベント等に参加して、町内のいちご産業を更に盛り上げて、全道・全国に知っていただきたいという気持ちで活動している。

今後も地域の活動に積極的に参加していき、いちご産業として社会教育に対してお力になれることがあればお声をかけていただきたい。

【G 委員】

何をやるにしても目標を立てることが重要だと思う。社会教育の事業においても、小さな目標でもよいので目標を定め、1個ずつクリアしていくように頑張ってもらいたい。

【H 委員】

社会教育委員には、学校の中のことを含めて話をするために、浦河町内の学校に通う子どもを持つ人がいた方が良くと思う。

【I 委員】

地域の色々な人と知り合いたいと思っており、まずは社会教育委員同士が交流するような場があればよいと思う。

【J 委員】

子どもをどのように支えていくのかということを考えている。子どもが成長するにつれて、親としての関わりも変化していくが、地域としても子どもたちをどのように支えていくのか議論していきたい。

【事務局】

委員の皆さんのご意見や要望を参考にしながら、次年度の社会教育事業を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

4.閉会